

## 巻 頭 言

愛媛大学工学部等技術部長  
(工学部長) 大賀 水田生

愛媛大学工学部等技術部の平成 24 年度における活動状況を「愛媛大学工学部等技術部活動報告集 Vol.12」として取り纏め、皆様方にお届けいたします。

ご存知のように、平成 16 年の法人化以降、技術部に期待される役割が、従来の教育・研究支援に加えて、管理運営、安全衛生管理、社会貢献に対する支援にまで広がってきています。さらに近年、従来の専門知識の習得に重きをおいた教育でなく、自ら問題を発見し解決できる想像力豊かなたくましい学生の養成が強く求められるようになるに伴い、実験・実習はもとより種々の学生参加型のプロジェクト型教育の導入・充実が図られており、技術系職員の教育における役割がさらに大きくなる傾向にあります。

このような大学内外での状況の中で、本来業務である実験・実習およびプロジェクト型授業での技術支援、科学体験フェスティバル等の学外者を対象にした行事による社会貢献、学内技術職員発表会の開催や各種研修会への参加を通じた技術力向上の取り組みなど多彩な活動を積極的に行ってきました。

特に平成 24 年度の活動として特筆すべき活動として、「総合技術研究会」の開催が挙げられます。この「総合技術研究会」は、大学、高等専門学校および共同利用機関の技術系職員が日頃取り組んでいる業務についての発表と討論を通じて技術的、人的交流を深めると共に、技術の研鑽および向上を図ることを目的に昭和 51 年に開始された全国規模の研究会であります。愛媛大学工学部等技術部は平成 18 年 3 月に平成 24 年度の「総合技術研究会」を本学で開催することに名乗りを上げ、準備を進めて参りました。平成 25 年 3 月に開催された研究会には全国の 86 機関から 712 名の参加者があり、盛大かつ成功裏に研究会を終えることができました。これまでに「総合技術研究会」を開催された旧帝大等の大きな大学と比較して規模の小さな本学でこのような大規模な研究会を開催できたことは、技術系職員の一丸となった取り組みに加えて、愛媛大学、特に工学部教職員のご理解とご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。今回の研究会の開催で得られた有形・無形の財産が今後の技術部の発展に役立てられることを切に願っている次第です。

最後に、この活動報告集が工学部等技術部の広報活動の起点となり、多くの方々からのご助言を得て、技術部の今後のさらなる発展につながることを期待しております。ぜひご一読いただき、技術部へのご理解とともにご批判ならびにご鞭撻を賜れば幸いです。

